

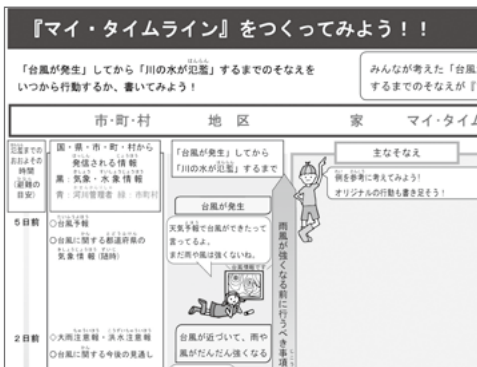
風水害への備え

台風や集中豪雨で、河川の氾濫などの災害が発生することがあります。日ごろから、風水害への知識を身に付け、いざというときのために備えることが大切です。

防災危機管理室
Tel 224-5554
Fax 225-2895

日ごろからできる準備

「マイ・タイムライン」の作成



マイ・タイムラインは、市ホームページからダウンロードできます

マイ・タイムラインとは、これから起こるかもしれない水害等に対し、一人ひとりの家族構成や生活環境に合わせた自分自身の避難計画です。あらかじめ時系列に沿って「いつ」「誰が」「何をするか」決めることで、いざというときに慌てず、安全な避難への手助けになります。



川越市防災情報メール

災害関連情報や防災に関する情報をメールでお届けします。登録は無料です。



登録はコチラから

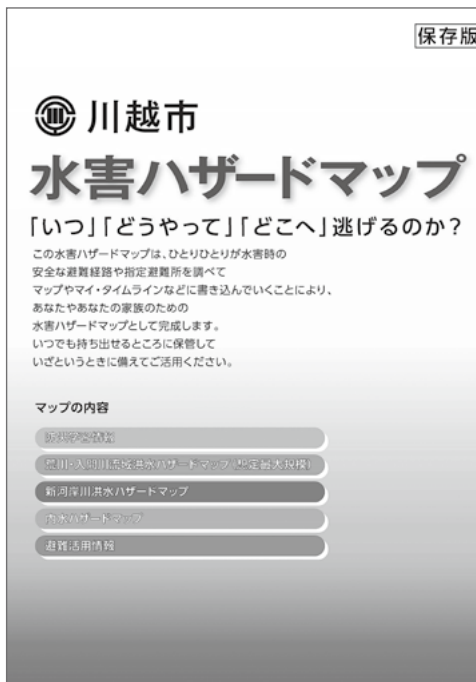
「災害時緊急放送に関する協定」を締結しました

市は、株式会社小江戸FMと災害時緊急放送に関する協定を締結しました。この協定により、市の避難情報等が放送されます。

小江戸FM(ラジオ川越)のFM周波数は88.7MHzで、FMを受信できるラジオやスマートフォンのアプリで放送を聴くことができます。



ハザードマップの確認



■ 早期の立ち退き避難が必要な区域の確認

川越市水害ハザードマップには、浸水が想定される区域や水害時の危険箇所が掲載されています。

特に想定浸水深が3m以上の「浸水想定区域」や「家屋倒壊等はん濫想定区域」は早期の立ち退きが必要な区域のため、必ず確認してください。

■ 洪水ハザードマップデータ更新

5月から県管理河川の洪水ハザードマップデータが新しくなりました。詳しくは、この広報川越に折り込まれている「ハザードマップ」、市ホームページ、小江戸川越マップを確認するか、河川課 ☎224-6041 ☎224-8804 にお尋ねください。



土のうステーションの確認

浸水への応急対策として、土のうステーション(簡易土のう置き場)を、寺尾地区などに設置しています。必要に応じてお持ちください(返却不可)。

詳しくは、道路環境整備課 ☎224-6029 ☎222-6017 にお尋ねください。



「避難指示」で必ず避難！

警戒レベル4「避難勧告」と「避難指示(緊急)」が「避難指示」に一本化されるなど避難情報等が改訂されました。これからは、警戒レベル4「避難指示」で危険な場所から全員必ず避難しましょう。

警戒レベル	避難情報等	とるべき行動
5	緊急安全確保	命の危険 直ちに安全確保！
〜 <警戒レベル4までに必ず避難！> 〜		
4	避難指示	危険な場所から 全員避難
3	高齢者等避難	危険な場所から 高齢者等は避難
2	大雨・洪水注意報	自らの避難行動 を確認
1	早期注意情報	災害への心構えを 高める

*警戒レベル5は必ず発令されるものではありません。

避難所での 新型コロナウイルス感染症対策

人が集まる避難所では、新型コロナウイルス感染症対策が不可欠です。市では、定期的な換気や過密状態を防ぐよう対策を行います。

少しでも感染リスクを下げるためには、避難者自身の協力が不可欠です。避難所では、必ずマスクを着用するとともに、必要な物はできるだけ事前に自身で用意してください。

■ 必要な物の例

マスク、体温計、消毒液、ハンドタオル、除菌シート、石けん、スリッパ、水・食糧など

分散避難の検討

避難先は、避難所だけではありません。安全な親戚・知人宅に避難することも検討してください。

風水害が発生したら

- 気象情報(テレビ・ラジオ等)や市などからの情報に注意しましょう
- 近所に住む高齢者や障害のある方に声を掛け、情報を伝えましょう
- 増水した河川等、危険な場所には絶対に近づかないでください

避難のポイント

避難とは難を避けること、つまり安全を確保することであり、避難行動には次の3種類があります。

なお、安全な場所にいる人は、避難所に行く必要はありません。

■ 立ち退き避難

避難所等の安全な場所に避難することであり、避難行動の基本です。

* 豪雨時の屋外移動は車も含め危険です。早めの行動を心がけましょう。



■ 屋内安全確保

浸水の危険があっても、①洪水により家屋倒壊のおそれが高い区域に入っていない、②浸水する深さよりも高いところにいる、③浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食糧などの備えが十分ある場合は、自宅の上階にとどまり安全を確保することも可能です。

* ①、②はハザードマップで確認できます。



■ 緊急安全確保

災害が発生・切迫し、立ち退き避難を安全にできなかった場合に、命の危険から身の安全を可能な限り確保するため、今居る場所よりも相対的に安全である場所に直ちに移動することです。

具体的には、緊急的に近くの堅固な建物への退避することや、屋内の少しでも浸水しにくい高い場所に移動することなどが挙げられます。